

門信徒会運動研修協議会

第 部その2

具体的取組み

Ver.6

平成21年10月10日(土)
正覚寺愚住 堅田 玄宥

お寺を活性化し、開かれたお寺にするためには

目次

1. 全員聞法・全員伝道について - 危機感・使命感を共有していますか -
2. お寺を活性化し、開かれたお寺にするとは
3. ぱなしでおわっていないだろうか
4. 信心獲得のダイナミズムを復活すべき、「称即名」
5. 開教最前線の試みに習う
6. 連続研修会の新たな工夫
7. 門徒推進員活躍の場を考える
8. お寺の活性化をめざして
9. 寺院運営の実際、ガラス張りの運営にする
10. 寺院運営のPDCAを回す
11. 正覚寺の基本方針 & **同行方針**
12. 2009年年頭の正覚寺の活動内容
13. 正覚寺の寺院運営の今後(逐次レビュー)
14. 法務目標進捗管理、個別案件進捗管理(割愛)
15. 正覚寺活動の記録(月報)(割愛)
16. 正覚寺役員会議事録(割愛)

開かれたお寺を目指して

1. 基幹運動と門信徒会運動研修協議会

1962年 700回大遠忌法要の翌年「門信徒会運動」提唱

1985年 「同朋運動」と一本化され「基幹運動」発足

2003年 「門信徒会運動」「門信徒会運動研修協議会」に発展
「僧侶と門信徒が共に集い、お寺の活性化を語る会」である。

2. その趣旨

ア) 門信徒と僧侶一人一人が、念仏者として、

イ) 『浄土真宗の教章(私の歩道)』のお心を体し、み教えを依処に
「開かれたお寺()」を通して、

ウ) み教えを語り・伝え(全員聞法・全員伝道)、

エ) 人々の苦悩や社会の課題に応えていこうとする運動である。

註) 「開かれたお寺」というのは、僧侶・門信徒だけのお寺ではなく現代社会の役割を担うお寺だという意味である。

「人々」には、未来の子や孫も含まれる。子や孫がお念仏を喜べる環境作りも我々の責務。

全員聞法・全員伝道について

1. 使命感・危機感を共有していますか？
 2. 教線拡充・御門徒育成を第一に掲げる基幹運動の実現こそ急務
 一体、ご本山は危機感を抱いていらっしゃるのか???
- 現在、カナダ開教区では御門徒数の減少が課題になっている(091008TA特派布教使談)
- ・寺院は何のためにあるのか、**存在意義**を考えたことがあるだろうか？
 - ・僧侶はこれでよいかと自らの姿勢を顧み、**使命感の初心**に立ち却っているでしょうか？
 葬儀屋さんとう違うのか？
 葬式をしているだけなら、全く違いがないのでは？
 NPO法人とう違うのか？
 利益を上げないで社会貢献しているだけなら、全く違いがないのでは？
 宗教屋さんという言葉があるとしてそれとう違うのか？
 お寺を訪ねたお同行に対して読経だけで済ませていませんか？
 - ・如来様のお慈悲をお伝えするのでなければ、**違いがないと云わねばならない。**

お寺を活性化し、開かれたお寺にするとは

1. お寺を活性化すると、開かれたお寺とは何か

- ・そのためにどんな工夫をこらしていますか？
- ・この1年にどんな取組をしましたか？
教線拡充ということ考えたことがありますか？
- ・住職・総代・仏壯・仏婦の役割分担は？
- ・各種研修に各寺院のご門徒様以外の方に門戸を開いていますか？案内をしていますか？
- ・連研にご門徒様以外の受講生を募っていますか？
- ・お家からでられた弟さん妹さんへのご法義伝達はどのようにしていますか？
- ・その方々のご意見ご要望をどのようにしてきいていらっしゃいますか？
- ・新たな団地等へのご門徒さんの開拓を考えていますか？
お寺を訪ねて見える外国人に垣根を作っていませんか？

ばなしで終ってはいないだろうか。

1) ばなしで終ってはいないだろうか？

- ・ 双方向のコミュニケーションが躍動しているだろうか？
聴聞が生活に息づいているか。聞きっ放しではないだろうか？

聴聞(称即名)の本質は、如来様との双方向のコミュニケーション

- 話合い法座の実が上っているか。話しっ放しではないだろうか？



2) 生活の中で確かめてみる。

- ・ 朝夕お内仏にお参りし、南無阿弥陀仏と称えれば、聞こえて下さる南無阿弥陀仏を如来様のお喚び声だとかみしめてみる。

(参) 仏教は、「聞思修」が大切。

- ・ 思 聞かせて戴いたところを深める。
- ・ 修 聞・思を受けて生活実践に移す。

信心獲得のダイナミズムを復活すべき

1) 親鸞聖人のみ教えに直参しよう

「勅命の他に領解なし」の親鸞聖人のみ教えに直参しよう。

称えれば聞こえて下さる「称即名」を生活実践で確かめてみよう。

2) ご常教「信心正因 称名報恩」に立つ説きぶりの反省 (決して批判ではありません)

・信心正因の名のもとに称名を捨て去って来てはいないだろうか？

・そのため、信心獲得が困難になったのではないだろうか？

・「信心正因」なのだから、信心獲得には称名は関与していないとして(称名不要論議にすり替えて)こなかったか？

・信心獲得後以外の称名は、すべて自力だとしてこなかったか？

・念仏か信心かの並列対比をしてこなかったか？

・聞名だけでも往生できるのだから称名は不要だとしてこなかったか？

・十遍も称えなければならぬものが正因である筈がないと言って、念仏の信心獲得プロセスへの関与を阻んでこなかったか？

・念仏は適当に十遍でも称えておけばよろしいと言ってこなかったか？

「称即名」のみ教えの構造

1) 親鸞聖人の教学は立体的・構造的。

・「行信論」に立つ念仏往生の法相である(梯實圓和上)。

信心獲得には、お念仏が躍動的に関わっている。 称即名。

「称即名」のみ教えをいかにして伝えるべきか。実践に踏み切るべきか。
立体的・構造的に捉えるには、どうすべきか。

「大行とは無碍光如来の名を称するなり」には主体が示されていない。
主体は衆生(私)であるように見えて、私ではない。如来様である。

(才市語録)才市よい。へ。

今説教をしたわ、誰か。へ。安楽寺の和上さんであります。

そうではあるまい。へ。蓮如さんでありました。

そうではあるまい。へ。弥陀の直説。

なむあみだぶであります。

(才市翁63歳)。

お念仏の声が聞こえなくなっていないか、その背景

2) 覚如上人・蓮如上人の教学は平面的

(法相) その教学は、「信心正因 称名報恩」の法相である。

・信心獲得を最初に据え、称名は信心獲得後の感謝の称名のみで捉える(信前行後)。
ご常教はこの立場である。

(長所) 大変優しく判り易い。

(欠点) 反面、信心獲得の道行が閉ざされてしまった懸念がある。

信心がえられなければ、他力の念仏は聞こえないことになる。

(原因) ・お聴聞の習慣が淋しくなったことに一因あり。

・覚如・蓮如上人の「信心正因 称名報恩」の法相で親鸞聖人の教学を読み取ろうとすることは無理がある(H21年9月15日梯實圓和上)

(対策) 「勅命の他に領解なし」のみ教えに直参すべき。

宗祖の方法論(「法体釈」に加えて「約機釈」を示された点がヒントになるのではないか。

宗祖は、如来様の側での解釈と衆生の側での解釈の二通りでご覧になる。

六字釈は、信心でいえば二種深信になる(Ref 090915梯 實圓和上講義)。 二河白道

開教最前線の試みに習う

3) 開教最前線の試み(方法論)を教学体系の中で位置づけてみる。
既存組織の外に向かって参加者を募るのに効果的な手立てについて

瞑想の位置付け

- ・海外では、法話だけではキリスト教と似通っていて魅力がない。
- ・その点、瞑想・坐禅というのはよい手法であるといわれる。

(注意点、と効果の確認)

- ・自性唯心に沈むことは許されない。
- しかし、機の深信を深める手段としては有効ではないのか。
- 芸事は、御みのりと二人三脚で発展してきた。 芸事の見直し発掘。
- ・節談説教の復活。例) 葦原理江師。
- ・法義を素材とした芝居、落語の研修や紹介
- 音楽布教の大いなる可能性

ア) 本願寺内でのギターバンドの結成(南米開教区での試み)

新発意ギターを担ってご正忌報恩講のご法座に！ 住職はただただ驚嘆

「報恩講 ギター片手に なむあみだ」(南米開教総長の今年の御言葉)

イ) 流行った歌の旋律を借用すればアカペラでもよい。例) 慚愧・歡喜の涙君(次頁)

H21年9月第2号_慚愧・歡喜の涙君_Ver1_りびんぐらいぶず_090822

ウ) 趣味の会からの参画。例) 大正琴の演奏会をお寺で、I) 合唱団の育成。

慚愧と歡喜のうちに御恩報謝の生活を送る

涙君さよなら(青年の涙君)
涙君さよなら さよなら涙君 また会う日まで
君は僕の友達だ この世は悲しいことだらけ
君なしではとても 生きて行けそうもない
だけど僕は恋をした 素晴らしい恋なんだ
だからしばらくは君と 会わずに暮らせるだろう
涙君さよなら さよなら涙君 また会う日まで

慚愧・歡喜の涙君

これは、南米開教区本願寺盆会での新発意の
出講をきっかけに補作したものです。

- 二、 涙君なつかし なつかし涙君 また会う日には
君は僕の友達だ 私は愚かなものだから
君なしではとても 生きて行けそうもない
ある日僕は声を聞く 阿弥陀様の声なんだ
われをたのめとよばふ なむあみだぶと称える
涙君なつかし なつかし涙君 また会う日には
- 三、 涙君なつかし なつかし涙君 また会う日には
君は僕の友達だ 私は愚かなものだから
君なしではとても 生きて行けそうもない
声聞くときの私はね 胸の奥から込み上げる
よろこびの涙君と 出遇いに酔いしれる
涙君なつかし なつかし涙君 また会う日には

[目次へ](#)

連続研修会の新たな工夫

4) 連続研修会の新たな工夫

とにかく、人集めが大変だという声にどう対処するか？

受講生の案内をお寺のご門徒の枠を超えてしてはどうか

・お東さんにも声をかける道はないのか？

例) 葬儀社社員まで案内の輪を広げている事例 Ref) 平成21年新報お盆特集号

話し合いが苦手だと言われることへどう対処するか？

実習形式の研修を織り込む。 例) 念珠造り、お華立て等。

初2回位を浄土真宗のみ教えの基本についてご法話を聞いて戴く。

例) 浄土真宗の教章。

連続研修会と併行して、『連研便り』を発行する。

み教えのお味わい、妙好人の生き様等をご紹介する。

出席率がおもわしくない場合どう対処するか

さまざまな補講策で対処する。

・平和の日の集いへの参画。

・浄土真宗のみ教えの基本について中程でしっかりとご案内する。

・寺院ご法座をご案内し、出席を補講扱いとする。

講義の連続性の確保 **次回講師には今回出席を求める。**

門徒推進員活躍の場を考える

5) 門徒推進員活躍の場がない(手持無沙汰)というが本当か
 果たして、「全員聞法、全員伝道」の実効が上がっているであろうか？

(対策)

連続研修会の運営の柱となる。

・連研の企画担当、研修当日の事務方

・『連研便り』の編集委員 例) 滋賀組では第11期から実施中。

H20年6月_滋賀組第11期連連研便り_第10号_讃岐路法悦の旅のお土産_アニキ後生の覚悟はよいか_Ver2

・キッズサンガや日曜学校のサポーターをご担当を担って戴けないか。

例) 地元「花祭り」にボーイスカウト指導者がサポートして下さる。

老人福祉施設訪問法話(例: ほとけはつねにいませども(次頁))

H21年2月第3号_讃歌「ほとけはつねにいませども」見遇から聞遇へ_Ver6tris

H21年5月第4号_尊号真像銘文_称名は仏徳讃歎_さびしかったらお念仏お称えなさいませよ_Ver1_りびんぐらいぶず

例) 訪問法話当日の施設現場での世話方を担って戴いている。更に踏み込んで

老人施設訪問法話先を積極的に開拓して戴けないか。

門徒推進員に、ご門徒外に向ってお同行開拓の使命を担って戴けないか。例) 寺報配布

門徒推進員に**準布教使資格**を付与する仕組みを構築してみてもどうか(御本山への提案)

地球温暖化防止推進員活動に参画し個別寺院毎の活動のお世話をして戴けないか。

ほとけはつねにいませども

後白河法皇『梁塵秘抄』

ほとけはつねに いませども
うつつならぬぞ あはれなる
ひとのおとせぬ あかつきに
ほのかにゆめに みえたまふ

二、ほとけはつねに いませども
きづかぬわれぞ あはれなる
まどろむわれを よびさまし
こえになりてぞ よびたまふ

三、ほとけはつねに ましまして
こえになりてぞ よびたまふ
なむあみだぶと となふれば
きこゆるみなに みえたまふ

これは、介護施設訪問法話
でお慶び戴いている称即名
の佛教讃歌です。

[目次へ](#)

お寺の活性化を目指して^{091009改訂}

6)お寺の活性化について

まず住職・門徒推進員自らが自らを振り返る。

ア)住職の情熱が問われるのではないだろうか

・結縁を求めてお寺をお訪ねになる方々に対して阿弥陀経一巻を上げてすましていないか？

・使命感から如来様のお慈悲をご法話でお伝えしているか？

イ)門徒推進員様ご自身の情熱が問われるのではないだろうか。

ウ)総代さんが名誉職的次元で甘んじていらっやらないか。

寺院運営にも継続的改善の仕組みを取り入れるべき

・[経営基本方針・理念]の確立を明確化する。

・[寺院基本方針]を毎年発行し、新たな取組を一つ着実に目標達成管理する。

例 三世代参画法要「降誕会」の実施 キッズサンガの具体的営みとして

例 寺日曜学校サポーターの育成 同上

内外部コミュニケーションの促進

・「役員会」の[議事録]を着実に残す。 [議事録]は出席役員に着実に配布する。

・欠席が目立つ役員には粘り強く役員会案内時に出席声かけを行う。

・[寺院活動の記録]を毎月発行して役員間コミュニケーションを図る。

・Web寺院(お寺のホームページ)を開設する。

寺院運営の実際

6) 寺院運営について(続き)

離郷御門徒への定期的なご法座・ご法儀のご案内

お便りがご門徒を励ます。更にはお便りを通じてのコミュニティの育成へ

(目的)「**寺の門徒、宗旨は浄土真宗、ご本山は西本願寺のご認識をお持ちいただく**」

例) 寺報、お盆・報恩講のしおり、カレンダー(探究社等)の配布

(頻度) 年4回から毎月まで。

例) 毎月寺報(カラー印刷)を配布 & 郵送のお寺様もあり。

(記事内容)

ご門主の御言葉 時代を先取りした本音を語っていらっしゃる。

遠方の離郷ご門徒には、近くの宗門末寺を着実に引きつぐ。

これは、宗門全体の課題であります。

Web寺院(開かれたお寺)の開設にこぎつける。

(効果) 広くインパクトのあるオピニオンが発信できる。

ご法座のご案内がこまめにできる。

希望そのものの道

091009改訂

日本では今、年間三万人超の自死が報じられ、ワーキングプアの増大が懸念されている。東大社会科学研究所では希望学に真剣に取り組んでいる。現在までの結論は

「どうしたら希望が持てるか
前途が全く見えないときも
前途がみえすぎたときも
希望はもてない。」と、科学されています。

Ref)東京大学社会科学研究所希望学プロジェクト玄田 有史「希望を科学する」

二河白道は、どうでしょうか。

西岸も白道も親鸞聖人のみ教えにより明らかです。

信心浅くとも、全く見えないのではありません。

信心浅きが故に、見えすぎるものでもありません。

確かなのは、称えれば聞こえて下さるお呼び声であります。

そうすると、貪瞋二河の煩惱成就の故に、自力がスタリ、

勅命に呼び覚まされつつ歩みゆく白道は、

まさに、“希望そのものの道”ではありますまいか。(H21年9月26日(土)玄宥記)

寺院運営のPDCAを回す 091010改訂

正覚寺ではISOに明るい住職()の主導でPDCAを回して継続的改善するコンセプトを採用しています。

住職は、QMS主任審査員(コピテンス)、EMS主任審査員の有資格者です。

継続的改善

正覚寺の歴史文化・理念

正覚寺の基本方針
同行方針

マネジメントレビュー

- ・正覚寺役員会
- ・課題の確認と次年度計画への反映

点検

- ・モニタリング
 - ・不適合&是正・予防処置
 - ・記録の管理
- 正覚寺活動の記録の維持
役員会は議事録を残す

年度計画

- ・行事計画 (H20年よりキッ'サンが三世代法座開設)
- ・予算計画
- ・初講

実施・運用

- ・責任・権限&役割分担
- ・力量、教育訓&自覚
- ・総代教室、仏壮例会、仏婦例会
- ・コミュニケーション(正覚寺役員会、文書伝達、Web寺院開設)
- ・文書管理(多目的文化誌「りびんぐらいぶず」発行)
- ・運用管理(報恩講、降誕会)
- ・リスクマネジメント(火災保険、地震保険)

毎年最も重要な課題をプロジェクト提起し、その実現に向けて取り組んでいます。

H21年度は、総代長・世話方さんの肝いりで寺院役員会議をテキパキと開催し【議事録】をしっかり残しています。毎月【正覚寺活動の記録】を発行しています。悲願の【正覚寺Webサイト】も開設に漕ぎつけました。

平成20年度正覚寺の基本方針 & 同行方針

基本方針

私たちは、阿弥陀如来の仰せの通りに、南無阿弥陀仏と称えれば聞こえて下さるお喚び声に呼び覚まされつつ、下記の通りの同行方針を掲げて社会に参画することを誓います。

同行方針

1. ご法座を大切にし、聞法に努め、他力の念仏者として継続のお育てに与ります。
2. 称えれば直ちに聞こえて下さるお名号を如来様のお喚び声と頂戴します。
3. 如来様から賜るお名号の働きにお任せして浄土往生を願います。
4. 念仏の声を世界に子や孫に伝えます。
5. 現実社会の課題に目を向け、他力の念仏者としての社会的責任を果たします。
6. 方針実現に向けて、計画(P) 実行(D) 反省(C) 対応(A)に則って活動します。
7. 方針をお同行の皆様に周知し、広く一般社会に向かって公開します。

平成20年1月1日制定

正覚寺愚住 堅田 玄宥

寺院運営はガラス張りにする

- まず、寺院運営の実態をご役員に知って戴く。
- そのために寺院運営はガラス張りにする。
- 会計の面倒を庫裏だけでみてきていないか。
- 随意契約にしていないか。
- 領収書は必ず取るようにしているか。
- コストパフォーマンスを見直しているか。
- シルバー人材の活用との対比をしているか。
- 参加型プロジェクト「全員参加・労働奉仕」の可能性を考えているか。例) 本堂屋根の年に一度の点検、
境内の手入れ、庭木の剪定等々。
- 今が楽であればよいのではなく、次代の子や孫の負担を軽くするにはどうすればよいかを考えているか。

2009年頭の正覚寺の活動計画

1)年間行事

- 1/16 (金) 仏教婦人会総会 16名出席
- 1/18 (日) 仏教壮年会総会 10名出席
- 1/25 (日) 初 講
- 5/17 (日) 降誕会法要、(お客僧) 御厨 得雄師
- 6/20 (土) 永代経法要、(お客僧) 岡 玲勸学寮部長
- 10/24 (土) & 25 (日) 報恩講、(お客僧) 松林 尚真師

2)月例会

(仏婦&仏壮) 勤行実習 & 法義研修

3)新たな取組み & プロジェクト関連 (印計画、 実施実績段階)

正覚寺念仏奉仕 (仏教壮年会主催) Pending

総代さん方の役割・責任・コミュニケーション

役員会(月例) 開催実施に踏み出し継続中、議事録発行

総代さんの年間研修スケジュール確立・実施 来年に向けて

離郷門徒への通信 (法事・法座・寺報案内 : 住職担当 立上成功

正覚寺Webサイトの開設 (仏壮・住職担当) 10月開設目途

正覚寺の寺院運営の今後(逐次レビュー)

組織 住職、責任役員・総代、仏壯、仏婦

・伝統文化を支える責任を持つ、・子や孫の時代に念仏の聲が伝わる環境作りをしよう。

メンテナンス 地震保険(リスクマネジメント)

(1)年間行事 降誕会、永代経、報恩講、

キッズサンガを機に三世代法座【降誕会】を平成20年度より継続して運営

念仏奉仕(仏壯主催) 専徳寺様を見習おう！

若いお父さんお母さん方の参加型プロジェクト「日曜学校サポーターの育成」を！

(2)例会行事 仏壯例会、仏婦例会、

総代様方には年間聴聞計画の確立・実施を(例)教区「総代教室」に継続参加を！

(3)役員会議の実施・議事録取得 9月現在全6回開催、確実に議事録を残している。

伝道活動 実績ある多目的文化紙「りびんぐらいぶず」を礎として

(1) 離郷御門徒への年4回の通信開始 今年ようやく第一歩を歩みだしました。

(2) 正覚寺の悲願である【Web寺院】の開設の実現 報恩講様までにできそうです。

参加型プロジェクト 「みんなでつくろう正覚寺のホームページを！」の推進

正覚寺にご縁を結んで下さいとの「声かけ運動」にみんなで取り組みましょう。

念仏者の社会的責任 医療・環境との接点を通して

(1) 地球温暖化防止活動 CO2排出量の直接・間接削減 門信徒会運動実績つみつつあり

(2) 末期医療「ビハーラ活動」への参画 介護施設への訪問法話は住職が細々と続けてありますが、皆さんのお知恵をお寄せ下さい。